



施術者は「指圧」や「マッサージ」をしている時に自分が何をしているのかを明確に意識しているかが大切なこととなる。痛みをとるために行うのか、慰安・リラクゼーションのためなのか。それによって刺激の強さも異なる。慰安・リラクゼーションの目的での指圧やマッサージでは施術を受ける人の強さの好みに合わせてもかまわないが、同じことを痛んでいる人にとっては強刺激となって今まで以上に痛みを増してしまう。治療のために行う場合は、タイ式マッサージに端的に示されているように筋紡錘と腱紡錘を刺激して筋繊維を和らげる。それによりその近くにある神経線維の興奮状態も改善されるようにすれば鍼術と同じ結果になる。指圧は鍼術や灸術とは違って何の道具も不要で筋繊維を和らげるので、最も経済的で効率的な優れた治療手段といえる。

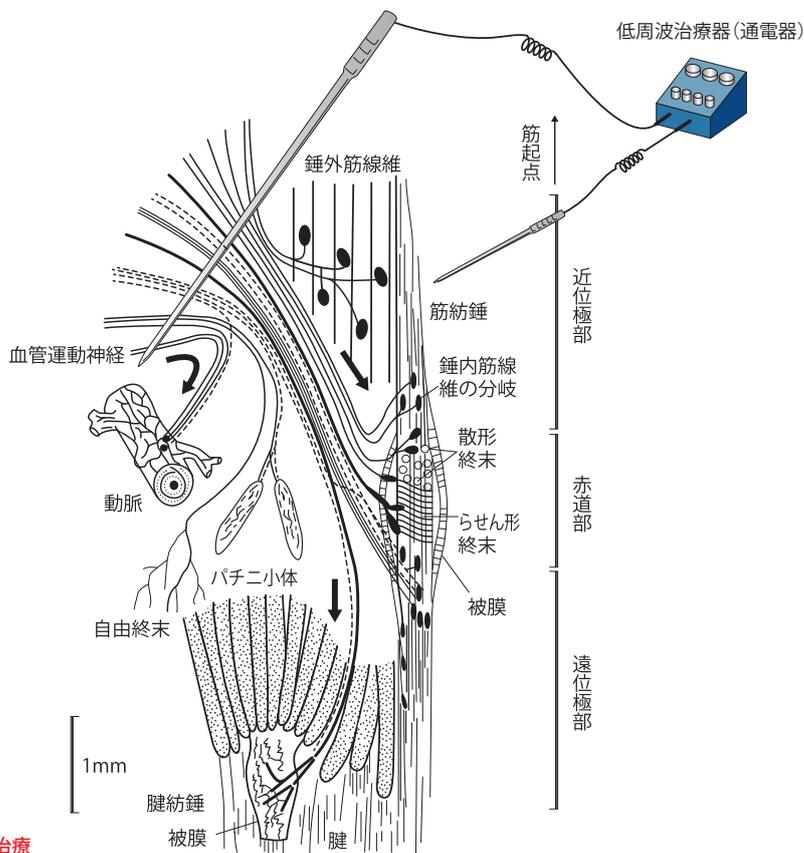
## 通電治療の原理

筆者は鍼治療で低周波治療器（通電器）を使った通電治療をすることが多い。鍼を刺し通電した時に筋肉がリズムカルに動く場合と筋肉が動かず鍼がピリピリすると感

じる場合とでは、筋肉がリズムカルに動く方が効果的であると思っている。

刺鍼するのは筋組織の神経組織に刺激を与えることを意味しており、さらに筋組織を動かすことは、筋紡錘と腱紡錘の二つの緊張を同時に和らげる効果を持つ。

つまり鍼で通電治療をして筋肉をリズムカルに動かすということは神経組織に刺激を与えるということと、筋紡錘と腱紡錘の緊張を取るといった効果があるのである。適切な通電療法は鍼の治療と指圧の効果を同時に得ることができ治療効果は高いといえる。



(図2) 通電治療



## 関 忠雄 Seki Tadao

- |       |                                     |       |                      |
|-------|-------------------------------------|-------|----------------------|
| 1949年 | 長野県生まれ                              | 2005年 | 佐野動物病院にて獣医学を研修       |
| 1973年 | 中央大学法学部卒業                           | 2006年 | 名古屋市れもん鍼灸接骨院院長       |
| 1978年 | 早稲田鍼灸専門学校卒業                         | 2013年 | アルゼンチン(F・バレイラ)鍼灸院院長  |
|       | 倉島宗二師に師事 臨床鍼灸学を研修                   | 2016年 | アルゼンチン、ドイツ、日本(名古屋市)に |
|       | 関鍼灸治療室を開設                           |       | レモンバーム・アカデミー開設       |
| 2003年 | 新潟大学医学部第一解剖学教室で末梢神経(自律神経:迷走神経)解剖を研修 | 2018年 | アルゼンチンから帰国           |
|       | 研究題目「迷走神経と経絡との解剖学的相関について」           |       |                      |